

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 YKK020	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JPO3/07850	国際出願日 (日.月.年) 20.06.03	優先日 (日.月.年) 20.06.02	
国際特許分類(IPC) Int. Cl ⁷ A44B19/44			
出願人(氏名又は名称) YKK株式会社			

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。 <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で 10 ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 10.09.03	国際予備審査報告を作成した日 06.01.04		
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 水野 治彦	3B	9254
		電話番号 03-3581-1101 内線 3320	

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1, 4, 10, 11 ページ、 出願時に提出されたもの
明細書 第 ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書 第 2, 3, 5-9 ページ、 15.12.03 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 3, 5, 6, 8, 10 項、 出願時に提出されたもの
請求の範囲 第 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの
請求の範囲 第 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
請求の範囲 第 4, 7, 9, 11, 12 項、 15.12.03 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1/6, 3/6-6/6 ページ/図、 出願時に提出されたもの
図面 第 ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
図面 第 2/6 ページ/図、 15.12.03 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 ページ、 出願時に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 ページ、 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 1, 2 項
☒ 図面 図面の第 2 _____ ~~ページ/図~~

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	3-12	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	3-12	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	3-12	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 45-22689 B (オプチ.ホルディング・アクチエンゲゼルシャフト), 1970.07.31

文献2: JP 52-141747 A (テキストロン・インコーポレイテッド), 1977.11.26

文献3: 日本国実用新案登録出願57-60773 (日本国実用新案出願公開58-164290) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (吉田工業株式会社), 1983.11.01

文献4: JP 2001-204515 A (旭化成株式会社), 2001.07.31

請求の範囲3-6に記載された発明は、国際調査報告で引用した文献1及び文献2により進歩性を有しない。文献1は、支持体ラップの突出部を折り曲げて被い5及び縫代6を設け、その切り欠き部にファスナリンク鎖1を固定したスライドファスナを開示する。文献2は、テープ20、テープ20に設けられた接合エレメント24及び接合エレメント近傍のテープ20に設けられた鎖形縫糸132を有するスライドファスナを開示する。そして、文献1に記載されたスライドファスナに対し文献2に開示する技術を適用することは、当業者であれば容易である。

請求の範囲7, 8, 11に記載された発明は、文献1、文献2及び国際調査報告で引用した文献3により進歩性を有しない。文献3は電磁波の遮断部材1の折返し部3に設けられたファスナーエレメント6を有するスライドファスナーを開示する。そして、文献1に開示されたスライドファスナの支持体ラップの機能或いはファスナリンク鎖1の構造、取付に関し、文献3に開示された電磁波の遮蔽部材に係る技術を適用することは、当業者であれば容易である。

請求の範囲9, 10, 12に記載された発明は、文献1、文献2、文献3及び国際調査報告で引用した文献4により進歩性を有しない。文献4はポリメチレンテレフタレート繊維からなるテープ用基布を開示する。また、文献4には基布の形態として、平織りが好ましい点及び基布に難燃剤を含有することができる点も開示する。

そして、文献1に開示されたスライドファスナの支持体ラップに関して文献4に開示された技術を適用することは、当業者であれば容易である。

に提供することである。

本発明の他の目的は、以下の課題を解決することである。

湾曲したファスナーテープをきわめて簡単な構成によって簡易に作製でき、ファスナーテープを被着物に対して縫着する際に、ファスナー
5 テープに縫製皺が生じないスライドファスナーを提供すること。

ファスナーテープを二つ折りにした折曲部にファスナーエレメントを簡単な構成で安定した形態で取り付けることができるスライドファスナーを提供すること。

ファスナーテープを二つ折りにした折曲部を補強し、ファスナーエレ
10 メントを強固に取り付けるための便宜を図ったスライドファスナーを提供すること。

ファスナーテープを二つ折りにした折曲部およびその側近部分を補強し、特に単一体のファスナーエレメントを強固に取り付けるための便宜を図ったスライドファスナーを提供すること。

15 ファスナーテープに簡単に特殊性能を具備できるテープの形態を特定し、安価に製品を供給できるスライドファスナーを提供すること。

ファスナーテープに電磁波シールド性能あるいはさらに難燃性能等の特殊性能を簡単に兼備させることができるスライドファスナーを提供すること。

20

前記の目的を達成するため、この発明は以下の構成を採用する。

本発明のスライドファスナーは、ファスナーテープ2の一侧縁部12を内側へ折り返して重合させることにより折曲部4を形成し、この重合構造の折曲部4にファスナーエレメント3を装着し、ファスナーエレ
25 メント3を取り付ける装着部5の近傍におけるファスナーテープ2に、ファスナーテープ2の長さ方向へ連続する縫糸6を縫着したことを特徴とする。

なお、ファスナーエレメント3を取り付けた部分のファスナーテープ2は一重でも二重でもよい。

30 この構成においては、ファスナーテープの一侧縁部を内側へ折り返し

て折曲部を形成し、この折曲部にファスナーエレメントを装着したことによって、ファスナーテープの縁部を補強し、ファスナーエレメントを安定した状態で取り付けることができる効果がある。

- また、ファスナーテープの一侧縁部にファスナーエレメントを装着し、
- 5 、ファスナーエレメントの装着部の近傍に縫糸を縫着することにより、ファスナーテープがその長さ方向に引き締められ、一侧縁部がテープの内側へ湾曲する。これにより、ファスナーストリンガーを縫製によって被着物に取り付けたときに生じる縫製収縮でファスナーテープが波打ち状となる現象すなわち縫製赦が生じない品質のよいスライドファスナーを安価に提供できる効果がある。
- 10

- 本発明のスライドファスナーは、ファスナーテープ2の一侧縁部12に形成した折曲部4内へ各種の形態に形成された芯材8を挿通して補強し、この芯材8を介在した状態で折曲部4にファスナーエレメント3
- 15 を装着し、ファスナーエレメント3を取り付ける装着部5の近傍におけるファスナーテープ2に、ファスナーテープ2の長さ方向へ連続する縫糸6を縫着したことを特徴とする。

この芯材8としては、支持片11の一侧縁に芯紐10を取り付けた芯材8を利用することが望ましい。

- 20 これらの構成においては、ファスナーテープの折曲部内へ芯材を挿通し、または折曲部およびその側近内へ芯材を挿通し、芯材を介在した状態でファスナーエレメントを装着したことによって、ファスナーテープの縁部を補強し、ファスナーエレメントを安定した状態で強固に取り付けることができる効果がある。この芯材が芯紐を有することで、補強効
- 25 果をさらに高めることができる。

あるなど、この発明が奏する効果はきわめて顕著である。

図面の簡単な説明

図 1 は本発明の一実施形態のスライドファスナーの正面図である。

- 5 図 3 はスライドファスナーにおけるコイル状の線条ファスナーエレメントを備えたファスナーストリンガーの断面図である。

図 4 はさらに他の実施形態を示す同上のファスナーストリンガーの断面図である。

- 10 図 5 はスライドファスナーにおける金属製の単一体ファスナーエレメントを備えたファスナーストリンガーの断面図である。

図 6 は他の実施形態を示す同上のファスナーストリンガーの断面図である。

図 7 は湾曲状のファスナーテープの正面図である。

図 8 は公知の電磁波シールドスライドファスナーの斜視図である。

15

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明のスライドファスナーの実施形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。

- 20 図 1 には本発明に基づくスライドファスナーが示されている。

このスライドファスナーの第 1 の特徴はスライドファスナーの基本的な機能に特殊性能機構を具備させたものである。具体的には、ファスナーストリンガー 1 は、ファスナーテープ 2 に電磁波シールド性能を具備させるため、ファスナーテープ 2 の表面に金属メッキを施して付着させ、シールド被膜 7 を形成してある。さらに、ファスナーテープ 2 に難燃性能を兼備させるため、ファスナーテープ 2 の表面に形成したシールド被膜 7 の表面に難燃剤をコーティングして付着させ、難燃性の被膜 7 を形成したものである。

- 30 第 2 の特徴は、ファスナーストリンガー 1 におけるファスナーテープ 2 がファスナーエレメント 3 を装着する以前において、テープ 2 の縁部

1 2に芯材8が具備されているか否かは関係がなく、ファスナーテープ
2に縫糸6を縫着することによって、テープ2の縁部12を図7に示す
ように全体を内向状に湾曲させ、ファスナーストリンガー1を被着物に
取り付けたとき、ファスナーテープ2の表面に縫製皺が表出されないよ
うに形成したことである。なお図中の符号20はスライダ、符号21
は開き金具、符号22は上止具を示す。

図3に示すように、ファスナーストリンガー1におけるファスナーテ
ープ2は、一枚のテープから形成されている。ファスナーテープ2は、
経糸および緯糸にポリエステル系繊維あるいはポリアミド系繊維を用
いて、経糸と緯糸とで平織り組織に織製してファスナーテープ2の基材
を作製し、このファスナーテープ2の基材の表裏両面に溶融メッキ（た
とえば銅-ニッケルの溶融液中にファスナーテープ2を浸漬して、テ
ープの両面にメッキを行う）を施してシールド被膜7を形成したものであ
る。

ここで、使用するファスナーテープ2に平織り組織を採り入れたのは
、組織が全体に均一で、メッキ液や難燃剤がテープ全体へ均一に浸透し
易く、また安価に仕上げることができるためである。しかしテープ全体
が均一な組織としては、必ずしも平織り組織のみでなく他の織り組織で
あってもよく、また経編みテープ、さらに繊維を交錯させた不織布であ
ってもよい。いずれにしてもファスナーテープ2は真直ぐな形態で表面
にメッキまたは難燃剤のコーティング加工を施すのが好ましい。

テープが湾曲しているとメッキの浴槽内へ多数本整然と配置して浸
漬させることが難しく、またコーティング設備に連続的に搬送して処理
することがきわめて難しいので、ファスナーテープ2は実直ぐな状態で
処理するのがよい。

両面にシールド被膜7を形成したファスナーテープ2は、一側縁部1
2の近傍すなわちファスナーエレメント3を取り付ける装着部5の近
くにファスナーテープ2の長さ方向へ連続する縫糸6を縫着すること
により、ファスナーテープ2はその長さ方向に引き締められ、ファスナ
ーテープ2の縁部12を長手方向に対し内側へ湾曲する形に形成する。

縫糸 6 の縫製形態は本縫いタイプが好ましく簡素で糸の節減ができ、ファスナーテープ 2 を安価に作製することができる。

湾曲固定したファスナーテープ 2 は、図 3 に示すように、ファスナーテープ 2 の一側縁部 12 において、エレメント内部に芯紐 10 を挿通したコイル状の線条ファスナーエレメント 14 の脚部 15 を二重環縫の取付糸 18 によってファスナーテープ 2 に取り付ける。したがって本縫いの縫糸 6 はコイル状の線条ファスナーエレメント 14 における連結部 17 の近傍に配される。なお湾曲状のファスナーテープ 2 にファスナーエレメント 3 を取り付けるには、湾曲状のファスナーテープ 2 を実直ぐな状態に保持した上で、ファスナーエレメント 3 を装着するので支障を来たすことがない。そして完成された湾曲状のファスナーストリンガー 1 を被着物へ縫着するとき、ミシン縫製によってファスナーテープ 2 の他側縁側が長手方向へ引き締められても、ファスナーテープ 2 の表面が波打ち状となる現象いわゆる縫製皺が生じないメリットがある。

本実施形態では、ファスナーテープ 2 の表面にメッキによるシールド被膜 7 を形成した後に、さらにファスナーテープ 2 に対し難燃性を付与させるために、無機塩、ハロゲン化合物、リン酸エステルなどの難燃性の添加剤をファスナーテープ 2 のシールド被膜 7 の表面へコーティング加工して難燃性能を兼備させ、電磁波シールド性能と難燃性能とを具備させたファスナーストリンガー 1 に仕上げる。

ここで、本実施形態においては、ファスナーテープ 2 の縁部 12 を内側へ折り返して折曲部 4 を設け、ファスナーテープ 2 自体の側縁 19 側を本縫いの縫糸 6 によって縫着し、縫糸 6 を引っ張ってファスナーテープ 2 を湾曲させると同時に縁部 12 を補強している。そして湾曲状態のファスナーテープ 2 の折曲部 4 の表面にコイル状の線条ファスナーエレメント 14 内に芯紐 10 を挿通して、二重環縫の取付糸 18 により取り付けてファスナーストリンガー 1 を完成させている。

なお、難燃性能を必ずしも具備させる必要はなく、或いはメッキに代えて難燃剤の被膜 7 を形成するものであってもよい。またファスナーテープ 2 に装着する線条ファスナーエレメント 14 はコイル状のみでな

く、ジグザグ状の線条ファスナーエレメント 14 であってもよい。なお
図中 16 は噛合頭部を示す。

このような本実施形態によれば以下に示す効果がある。

ファスナーテープ 2 の一側縁部にファスナーエレメント 3 を装着し、
5 ファスナーエレメント 3 の装着部の近傍に縫糸 6 を縫着することによ
り、縁部を内向へ湾曲形成させることができる。

ファスナーテープ 2 の表面にメッキを施して被膜を形成し、さらにそ
の表面へ難燃剤をコーティングして被膜 7 を形成したことによって、メ
ッキによる電磁波シールド性能および難燃剤コーティングによる難燃
10 性能を簡易に具備させることができ、安価で品質のよい製品に仕上げる
ことができる効果がある。

この際、ファスナーテープ 2 は、繊維製であり、メッキ液および難燃
剤がテープ全体へ均一に浸透するので、ファスナーテープ 2 にメッキに
よる電磁波シールド加工、また難燃剤のコーティング加工がきわめて簡
15 易に行うことができ、安価で品質のよい製品に仕上げることもできる効
果がある。

以上のように、本実施形態によれば、被膜 7 による電磁波シールド性
能および難燃性能を備えたスライドファスナーを簡単に作製でき、かつ
製品コストを削減でき、しかもファスナーストリンガー 1 を被着物に取り
20 付けたときでも、湾曲したファスナーテープ 2 により波打ち現象すな
わち縫製敎が生じない品質のよいスライドファスナーを安価に提供で
きるといふ効果がある。

更に、ファスナーテープ 2 の一側縁部を内側へ折り返して折曲部 4 を
形成し、この折曲部 4 にファスナーエレメント 3 を装着したことによっ
25 て、ファスナーテープ 2 の縁部を補強し、ファスナーエレメント 3 を安
定した状態で取り付けることができる効果がある。

図 4 に示すファスナーストリンガー 1 は、前述した図 3 の実施形態と
同様に、ファスナーストリンガー 1 のファスナーテープ 2 に折曲部 4 を
30 形成し、ファスナーテープ 2 の表裏両面にシールド被膜 7 を形成したも

のである。異なる点は以下の通りである。

本実施形態では、ファスナーテープ2を折り返し、この重合するファスナーテープ2の間へ一枚の平坦状の補強片9から形成した芯材8を介在させてファスナーテープ2の折曲部4を補強している。

- 5 ここで、補強片9はファスナーテープ2の長さ方向へ連続し、ポリエステルまたはポリアミド等の繊維で織製または編製された細幅テープである。

- また、ファスナーテープ2は側縁19側を本縫いの縫糸6によって縫着し、全体が湾曲状を呈するように形成した後に、折曲部4の表面に芯紐10を挿通したコイル状の線条ファスナーエレメント14を二重環縫の取付糸18によって取り付けている。

このような本実施形態によれば、前述した図3の実施形態における効果に加えて以下に示す効果がある。

- ファスナーテープ2の折曲部内へ芯材8を挿通し、芯材9を介在した状態でファスナーエレメント3を装着したことによって、ファスナーテープ2の縁部を補強し、ファスナーエレメント3を安定した状態で強固に取り付けることができる効果がある。

- 図5に示すファスナーストリンガー1は、前述した図3の実施形態と同様に、ファスナーテープ2の表裏両面にシールド被膜7あるいはまた難燃剤のコーティング被膜7を兼備させた電磁波シールド性能を備えたファスナーテープ2を二つ折りして折曲部4を設けものである。異な

請 求 の 範 囲

1. (削除)
2. (削除)
- 5 3. ファスナーテープ(2)の一侧縁部(12)を内側へ折り返して折曲部(4)を形成し、該折曲部(4)にファスナーエレメント(3)を装着し、該ファスナーエレメント(3)の装着部(5)の近傍に縫糸(6)を縫着したことを特徴とするスライドファスナー。
4. (補正後)請求項3に記載のスライドファスナーにおいて、前記
- 10 ファスナーテープ(2)の折曲部(4)内へ芯材(8)を挿通し、該芯材(8)を介在した状態でファスナーエレメント(3)を装着したことを特徴とするスライドファスナー。
5. ファスナーテープ(2)の一侧縁部(12)を内側へ折り返して折曲部(4)を形成し、該折曲部(4)内へ芯材(8)を挿通し、該芯
- 15 材(8)を介在した状態で該折曲部(4)にファスナーエレメント(3)を装着し、該ファスナーエレメント(3)の装着部(5)の近傍に縫糸(6)を縫着したことを特徴とするスライドファスナー。
6. 請求項4または請求項5に記載のスライドファスナーにおいて、前記芯材(8)は支持片(11)の一侧縁に芯紐(10)を備えている
- 20 ことを特徴とするスライドファスナー。
7. (補正後)請求項3から請求項6までの何れかに記載のスライドファスナーにおいて、前記ファスナーエレメント(3)は前記折曲部(4)を挟着して取り付けられていることを特徴とするスライドファスナー。
- 25 8. 請求項7に記載のスライドファスナーにおいて、前記ファスナーエレメント(3)は金属製で、啮合頭部(16)とこの啮合頭部(16)から突出する一つの脚部(15)とを有し、この脚部(15)が前記折曲部(4)を挟着していることを特徴とするスライドファスナー。
9. (補正後)請求項3から請求項8までの何れかに記載のスライド
- 30 ファスナーにおいて、前記ファスナーテープ(2)は繊維製で、メッキ

液または難燃剤が浸透されていることを特徴とするスライドファスナー。

10. 請求項9に記載のスライドファスナーにおいて、前記ファスナーテープ(2)は平織り組織からなることを特徴とするスライドファスナー。

11. (補正後)請求項3から請求項10までの何れかに記載のスライドファスナーにおいて、前記ファスナーテープ(2)の表面にメッキを施して電磁波シールド性を具備したことを特徴とするスライドファスナー。

- 10 12. (補正後)請求項3から請求項11までの何れかに記載のスライドファスナーにおいて、前記ファスナーテープ(2)の表面に難燃剤をコーティング難燃性を具備したことを特徴とするスライドファスナー。

2/6

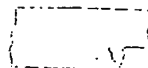
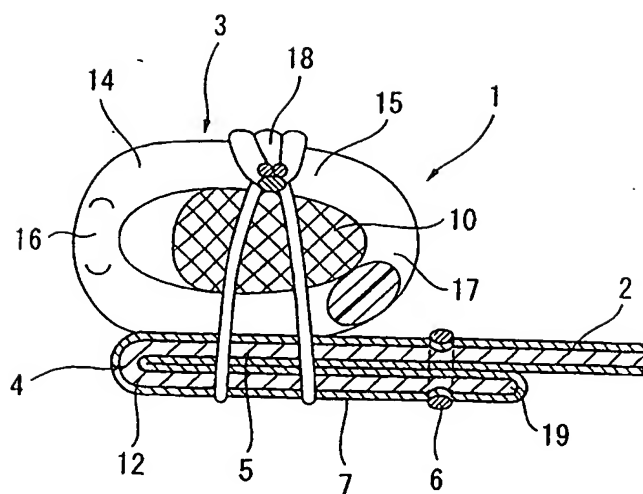


図 3



Pat'd PCT/PTO 17 DEC 2004

Translation

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)



Applicant's or agent's file reference YKK020	FOR FURTHER ACTION See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416)	
International application No. PCT/JP2003/007850	International filing date (day/month/year) 20 June 2003 (20.06.2003)	Priority date (day/month/year) 20 June 2002 (20.06.2002)
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC A44B 19/44		
Applicant YKK CORPORATION		

<p>1. This international preliminary examination report has been prepared by this International Preliminary Examining Authority and is transmitted to the applicant according to Article 36.</p> <p>2. This REPORT consists of a total of <u>4</u> sheets, including this cover sheet.</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> This report is also accompanied by ANNEXES, i.e., sheets of the description, claims and/or drawings which have been amended and are the basis for this report and/or sheets containing rectifications made before this Authority (see Rule 70.16 and Section 607 of the Administrative Instructions under the PCT).</p> <p>These annexes consist of a total of <u>10</u> sheets.</p>
<p>3. This report contains indications relating to the following items:</p> <p>I <input checked="" type="checkbox"/> Basis of the report</p> <p>II <input type="checkbox"/> Priority</p> <p>III <input type="checkbox"/> Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability</p> <p>IV <input type="checkbox"/> Lack of unity of invention</p> <p>V <input checked="" type="checkbox"/> Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement</p> <p>VI <input type="checkbox"/> Certain documents cited</p> <p>VII <input type="checkbox"/> Certain defects in the international application</p> <p>VIII <input type="checkbox"/> Certain observations on the international application</p>

Date of submission of the demand 10 September 2003 (10.09.2003)	Date of completion of this report 06 January 2004 (06.01.2004)
Name and mailing address of the IPEA/JP	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP2003/007850

I. Basis of the report

1. With regard to the elements of the international application:*

- ☐ the international application as originally filed
- ☒ the description:
pages 1, 4, 10, 11, as originally filed
pages _____, filed with the demand
pages 2, 3, 5-9, filed with the letter of 15 December 2003 (15.12.2003)
- ☒ the claims:
pages 3, 5, 6, 8, 10, as originally filed
pages _____, as amended (together with any statement under Article 19
pages _____, filed with the demand
pages 4, 7, 9, 11, 12, filed with the letter of 15 December 2003 (15.12.2003)
- ☒ the drawings:
pages 1/6, 3/6-6/6, as originally filed
pages _____, filed with the demand
pages 2/6, filed with the letter of 15 December 2003 (15.12.2003)
- ☐ the sequence listing part of the description:
pages _____, as originally filed
pages _____, filed with the demand
pages _____, filed with the letter of _____

2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Authority in the language in which the international application was filed, unless otherwise indicated under this item.
These elements were available or furnished to this Authority in the following language _____ which is:

- ☐ the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 23.1(b)).
- ☐ the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).
- ☐ the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination (under Rule 55.2 and/or 55.3).

3. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application, the international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:

- ☐ contained in the international application in written form.
- ☐ filed together with the international application in computer readable form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in written form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in computer readable form.
- ☐ The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go beyond the disclosure in the international application as filed has been furnished.
- ☐ The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the written sequence listing has been furnished.

4. ☒ The amendments have resulted in the cancellation of:

- ☐ the description, pages _____
- ☒ the claims, Nos. 1, 2
- ☒ the drawings, sheets/fig 2

5. ☐ This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since they have been considered to go beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).**

* Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation under Article 14 are referred to in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not contain amendments (Rule 70.16 and 70.17).

** Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to this report.

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.
PCT/JP 03/07850

V. Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement

1. Statement

Novelty (N)	Claims	3-12	YES
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims		YES
	Claims	3-12	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	3-12	YES
	Claims		NO

2. Citations and explanations

Document 1: JP 45-22689 B (Opti Holding AG), 31 July 1970

Document 2: JP 52-141747 A (Textron Inc.), 26 November 1977

Document 3: Microfilm of the specification and drawings annexed to the written application of Japanese Utility Model Application No. 60773/1982 (Laid-open No. 164290/1983) (Yoshida Kogyo Kabushiki Kaisha), 1 November 1983

Document 4: JP 2001-204515 A (Asahi Kasei Corp.), 31 July 2001

The invention described in claims 3 to 6 does not involve an inventive step in the light of document 1 and document 2 cited in the international search report. Document 1 discloses a slide fastener wherein a cover (5) and a seam allowance (6) are provided by folding over a projecting part of a support body lap, and a fastener link chain (1) is affixed in a cut-out part thereof. Document 2 discloses a slide fastener having a tape (20), a fastener element (24) provided on the tape (20), and a chain-forming sewing thread (132) provided on the tape (20) in proximity to the fastener element. Thus, a person skilled in the art could easily conceive of applying the feature

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP 03/07850

disclosed in document 2 to the slide fastener disclosed in document 1.

The invention described in claims 7, 8, and 11 does not involve an inventive step in the light of document 1, document 2, and document 3 cited in the international search report. Document 3 discloses a slide fastener having a fastener element (6) provided on a fold-over part (3) of an electromagnetic wave-shielding member (1). Thus, a person skilled in the art could easily conceive of applying the features pertaining to the electromagnetic wave-shielding member disclosed in document 3 to the function of the support body lap or the structure and method of attachment of the fastener link chain (1) on the slide fastener disclosed in document 1.

The invention described in claims 9, 10, and 12 does not involve an inventive step in the light of document 1, document 2, document 3, and document 4 cited in the international search report. Document 4 discloses a base fabric for tape comprising polymethylene terephthalate fibers. Further, document 4 further describes the type of base fabric, indicating that a plain weave fabric is preferable and that a fire retardant can be included in the base fabric.

Thus, a person skilled in the art could easily conceive of applying the features disclosed in document 4 to the support body lap of the slide fastener disclosed in document 1.